

菩提樹

平成29年度 第5号 9月19日発行

言葉がもつあたたかさ

校長 秋野 信義

毎朝、子供たちの登校を校門で迎えることにしています。「おはようございます」と元気にあいさつが返ってくると本当に気持ちがよいものです。あいさつの輪が学校だけでなく、自分の家の近所や地域へも広がってほしいと願っています。

さて、夏休みに6年生と立山登山に挑戦する機会がありました。雨のため、一の越までとなりましたが、充実した一日となりました。特に同行下さった登山ガイドの方が、「登る」ではなく、「歩く」という言い方をされたことが印象的でした。その方によれば、歩くと説明した方が登山経験が少ない人にとっては精神的な負担が軽くなり、平地と同じ感覚で行動できるとのことでした。山は登るものだと思い込んでいた私にとって、「歩く」という言い方は新鮮でした。霧雨の登山で不安げだった子供たちも、山道を「歩く」という意識をもったおかげで、無事に一の越まで行くことができました。



コーチングの専門家の石川尚子氏によれば、「～しなさい」という言葉には、言われた側の意思是尊重されないため、やらされている感じがするそうです。一方、「～しよう」は一緒に取り組む楽しさや安心感があるそうです。そこで、子供が自発的に動くようになる言葉の例をご紹介します

- (1) 「早く起きなさい」 ⇔ 「さあ、起きようね」
- (2) 「ご飯、食べなさい」 ⇔ 「一緒にご飯を食べようか」
- (3) 「出かける準備をしなさい」 ⇔ 「出かける準備をしようか」

「肯定的に見てもらえている」という感覚は、「任せてもらっている」という安心感から本人の気持ちを前向きにし、やる気も出てきます。子供とのコミュニケーションをひと工夫することで、親子の信頼関係も一層深まると考えます。

先日、職員室で「がんばって草刈りしてすっきりしたね。助かったわ。ありがとう。」という声を聞きました。言われた職員は、少し恥ずかしそうにはにかんでいましたが、今後のモチベーションもきっと上がったと思います。家庭でも「私は、～と感じたよ（うれしかった、楽しかった、助かった等）」という言い方で、家の方のお気持ちを伝えてみませんか。

1学期から学校では、「あったか言葉」を奨励しています。「ありがとう」「大丈夫?」「一緒に遊ぼう」などは、自分が言われるとうれしい言葉です。学習中だけでなく、休み時間にもさりげなく言える子供が増えてきたように感じます。子供たち自身もお互いに「あったか言葉は、気持ちよく過ごせる」と分かり始めています。

私たち教職員も、一人一人の個性を認め、伸ばすことを意識して、温かく前向きな言葉遣いをずっと意識していきたいと思います。

防災の日給食

教諭 給食指導担当

今年度から始業式は8月31日、防災の日にちなんで、災害時の食事を体験する「防災給食」を実施しました。献立は、災害時、火や水が使えなくなったことを想定したもので、温めずにそのまま食べられる非常食「救給カレー」やヨーグルト、アーモンド小魚と水、ジュースでした。（ヨーグルトやジュースは栄養価プラスですが）配布されたランチマットにも、「みんなでまな防災」ということで、もしもの時の持ち出しリストなど、災害時の心得が印刷されています。

子供たちは「水もカレーも賞味期限がすごく長いよ。水は5年ももつんだ。」「本当に災害になったら、このカレーだけなんでしょ。」「思ったよりおいしいけど、やっぱりいつもの食器のあたたかい食事がいいな。」などと思いつきに感想を話しながら、食べていました。1学期に社会科で「地震からくらしを守る」を学習し、災害への備えを学びましたが、よい実体験になったようです。私自身、「冷や」でしかもすでに「まぜてある」野菜カレーなのにお肉でスープを取ったようにおいしく、それも今どきの食品らしく21種ものアレルギー配慮がしてあることに驚かされました。

これらの食品が、また5年後に「賞味期限だよ、もったいないからみんなで食べよう」と開封されることを祈ってやみません。



プチ学校ニュース

五十嵐篤好翁の徳を学ぶ

9月19日（火）は創校記念日。119回目の誕生日です、記念式のあと、今年は高岡市博物館から仁ヶ竹亮介学芸員をお迎えして講演を頂き、五十嵐翁の心に触れました。

子供たちも、農学や土木だけでなく詩歌や書にも通じ、飢饉に備えて穀物を蓄えたり他地域のために用水を引く労を執ったりしたうえ、投獄されても信念を曲げなかったことなどを学び、人柄やリーダーシップに感心していました。各種団体の皆様が率先して地域のためにご尽力される様子や子供たちが下級生の世話がとても上手な様子など五十嵐翁の威徳はふるさととのそこかしこに根付いているようにも感じます。



制服スペア募集しています

保健室で緊急時に貸し出す式服や運動着のスペアを募集しています。特に小さなサイズが足りていません。一番下のお子さんが大きくなったりご近所にご提供頂けるご家庭がございましたら保健室までお願いします。なにとぞご協力をお願いいたします。

対象ウェア（式服、式服スカート、半ズボン、体操各種）なお、記名があればこちらで消してから利用いたします。



アルミ缶回収

今月29、30日に市商工会青年部の事業に協賛してアルミ缶回収が行われます。ご協力をお願いします。袋は事前にお配りしたものでなくとも結構です。また、事前にお持ち下さることも可能です



大学生アシスト中

7月から4人の大学生が週1回、学校を訪れて子供たち学習を支援しています。県や大学が主催して、教職を目指す学生を鍛える事業の一環です。特別支援、授業支援、職種体験、実験観察とそれぞれの目標は違いますが、子供たちもその若さに触れ、楽しそうです。全員20歳そこそこのフレッシュさ。本校の子供たちの元気さに触れ、今後の発展を期待しています。



